

平成30年度 学校評価 [各校の重点取組について]	
1 自他の命を大切にし、思いやる豊かな心を持つ児童の育成を図る	2 自らの力で課題を追求し、解決できる児童の育成を図る
3 心身ともにたくましく、意欲的に実践する児童の育成を図る	4 豊かな体験を通して、感性を磨く児童の育成を図る
学校教育に関する重点取組	
1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む (1) 授業改善の取組を促進するとともに、家庭との連携により、学力向上を推進する (2) 特別支援教育の取組を充実させ、自立や社会参加に向けた主体性を育成する (3) 食育を通して生活改善の取組を促進し、楽しい生活習慣を育成する (4) 体育・スポーツ活動の取組を促進し、体力・運動能力の向上を図る	
取組とその成果	
○学力向上の取組 ・教員の校内研究による授業力の向上 ・放課後学習による、基礎型学習支援と活用型学習支援の実施。 ・夏休みの集中活用型学習教室の実施。 ・行事、学年・学級活動の際、「伝え合う力の育成」を全学年で意識的に取り組む。 ・家庭との連携を図り、宿題や家庭学習の充実。9割の児童が平日1時間以上勉強。 ○特別支援教育について ・特別支援コーディネーターが中心となってインクルーシブ教育等に対し積極的に自己研鑽を積み、校内研修会を実施するなど、職員の課題解決力を高めた。校内委員会の中で通常学級で困難な状況にある児童についても情報交換を行い、学校全体で指導にあたる体制作りを行った。また、外部専門家による見取りも実施した。 ○食育について ・栄養教諭と養護教諭を中心とした職員の連携により、食育について高い水準と意識が保たれている。 ○体育指導について ・あまっぴジャンプや泳力向上を目指した夏季休業期間中の特訓水泳、体育の授業では広い運動場で力いっぱい運動するなど、小規模校のメリットを生かし、のびのびと運動を行うことができた。持久力、瞬発力、機敏性伸びてきている。	
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る (1) 基本的生活習慣確立の取組を促進し、心身共に健全な育成を図る (2) 道徳性育成の取組を促進し、思いやりに満ちた人間関係及び社会とのかかわりづくりに努める (3) 各校のいじめ防止基本方針に基づき、誰もがすごしやすい学校の環境づくりに努める (4) キャリア教育の取組を促進し、社会的自立に必要な能力を育成する	
取組とその成果	
○児童の道徳性については、生活指導等の日頃からの早期対応により、規範意識が保たれるよう注意を払っている。 ○基本的な生活習慣についても、養護教諭を中心とした、きめこまかい指導や啓発により、学校における保健指導の成果はあがっている。インフルエンザ流行時にも、健康に過ごせた子が多かった。 ○キャリア教育については、本校の縦割り活動による異学年交流を軸に自己有用感を高める教育活動を充実させた。児童の主体性を重視し、伸ばしたい個性を見いだし、ほめる声かけや、自尊心の育成等、小規模校の特性を生かし、小学校で育むべき人としての土台づくりをめざし取り組んだ。	
3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む (1) 教職員の資質向上の取組を促進し、業務改善を進めながら学校の組織力及び教育水準の向上を図る (2) 地域の教育力を活用した取組を促進し、地域とともにある学校園づくりを推進する	
取組とその成果	
○教職員の資質向上、組織力、教育水準の向上について、校内研究をはじめ、全教職員で共通理解を図りながら丁寧に意欲的に取り組んでいる。「何の為にどんな力をつけていくか」の視点をベースに、全教育活動が繋がっている。 ○地域資源活用について ・体育大会前には、地域の方が中心となって校庭の草抜きと溝掃除を企画実施してくださった。 ・大学生や地域住民の方を放課後学習支援員や特別支援ボランティアをに活用するなど、学校のニーズに合った人材発掘に努めた。	
4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る (1) 安全教育の取組を促進し、登下校及び学校園内の安全確保を図る (2) 防災教育の取組を促進し、危機管理能力の向上を図る	
取組とその成果	
○安全教育について ・本年度、台風の直撃や西日本豪雨、非常事態レベルの暑さ等、学校に緊急の対応がせまられる事態が数多くあった。一方、対応がせまられるのは、学校だけではなく教職員個人個人、保護者、児童、地域住民もそうであることがわかった。集団下校の体制づくりと、一斉下校、引き渡し訓練を、「何の為にどんな時に」を参加者全員念頭において実施することを心がけた。集団下校を緊急に行ったときも、混乱なく迅速に下校までの手順を踏むことができた。 ・台風など緊急事案の際はボランティアの見守り隊やPTAと協力して朝の立ち当番や見回りを実施した。 ○防災について ・避難訓練を実施し、緊張感をもって火災や地震が起きた際の避難方法を確認できた。・避難所開設訓練、停電時対応訓練等、考えられる非常事態に備えることができた。	
教育目標 (1) 教育目標の達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 教育目標の具現化と指導の充実	
取組とその成果	
○学校教育目標に基づいた学年学級目標が為されている。日々の授業、学校行事、学年行事、色々なイベントなど全て教育目標に立ち返ることを心がけた。めざす子どもの育ちと学校の教育活動にぶれが少ない。 ○教職員との面談を進んで行い、職務上の困難な点や成果などについて語り合うようにした。学校が共通認識のもとに日々の教育実践を行うことができた。	
研究テーマ (1) 研究テーマの達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 研究テーマの具現化と指導の充実	
取組とその成果	
○国語科を中心に、主体的、協働的な学習活動の充実について取り組んでいる。小規模校で、十分な研究体制を整えることはできないが、団結して全員で一つの課題に取り組むなど、共通理解を図りながら研究を進めている。学力向上については、全国学力学習状況調査、尼崎市ステップアップ調査の結果をもとに傾向と対策を練った。夏の集中学習や宿題の出し方についても全学年で児童の実態に基づいて一貫した指導に取り組むことができた。	